

熱川バナナワニ園 50年の歴史

昭和33年 2月 6日	熱川バナナワニ園 建設工事起工
昭和33年 9月 20日	熱川バナナワニ園 植物 360種類、ワニ 4種 13頭で開園
昭和40年 1月 28日	皇太子殿下御夫妻（現天皇・皇后両陛下）来園
昭和42年 9月	日本初の熱帯スイレン温室が完成
昭和43年 10月 8日	パラオ島で採卵したワニの卵の人工孵化に成功
昭和44年 4月 12日	アマゾンマナティー（オス 1頭）を導入
昭和45年 3月 10日	研究部門を組織し研究員を配置
昭和46年 3月 1日	熱川バナナワニ園 分園開園
昭和47年 2月 17日	カンボジアよりシロワニ（イリエワニ白化個体）導入
昭和47年 4月 1日	熱帯動植物友の会を設立
昭和49年 1月 20日	伊豆大島ハワイ植物園 開園
昭和50年 5月	日本で初めてジェードバインの育成開花に成功
昭和51年 4月	博物館相当施設に指定
昭和51年 8月	飼育下で採卵したワニの人工孵化に成功（キューバワニ、クチヒロカイマン）
昭和52年 6月 14日	昭和天皇・皇后両陛下行幸啓
昭和53年 1月 14日	伊豆大島近海地震により被災
昭和53年 6月	ネパールで採卵したインドガビアルの人工孵化に成功
昭和56年 5月 21日	木村 亘 初代園長逝去（享年 59歳）
昭和56年 6月 1日	木村 智 第2代園長に就任
昭和57年 2月	中国より寄贈されたパフィオペディルム・ミクランサムが国内で初開花
昭和59年 2月 7日	開園 25周年記念として日本橋三越本店で「世界のつばき展」を開催
昭和60年 8月 31日	伊豆大島ハワイ植物園 閉園
昭和60年 11月 2日	アメリカ・ワシントン動物園よりレッサーパンダ 1番（つがい）来園
昭和63年 9月 30日	セイシェル共和国よりアルダブラゾウガメ 4頭来園
平成元年 8月	「熱川バナナワニ園 30年の歩み」刊
平成 4年 6月	池袋の東武百貨店で開催された「英国王立キュー植物園展」を応援
平成 4年 8月 29日	熱帯動植物友の会の創立 20周年記念大会を開催
平成 5年 6月	日本で初めてドリアン育成開花に成功
平成10年 3月	パプアニューギニアで採集導入したテコマンテ・デンドロフィラが日本で初の開花
平成13年 4月	分園中庭をイングリッシュガーデン風に改修
平成17年 5月	タイより導入した白花のトーチ・ジンジャーが日本で初の開花
平成19年 8月 8日	新マナティー舎完成
平成19年 8月	順調に繁殖を繰り返したレッサーパンダは 35頭に達した
平成20年 4月	開園 50周年の節目に本園ワニ園部分の改修工事に着手
平成20年 7月	改修工事完了